

里づくりテーマ：大沢郷地区いきいき里づくり構想

○湧水や伝統文化、祭り等の魅力ある地域資源を有効活用した交流人口の拡大及び拠点整備
○希薄化しつつある地域コミュニティの再形成、小さな拠点づくりの推進

【今ある地域資源】

- 湧水（雄清水、雌清水、日本酒（大綱の響き））
- 番楽（椒沢番楽）
- 祭り（亀田街道まつり）
- 食（レンコン、わさび etc）

現在の地域状況

◇少子高齢化等により、地域活力が低下している、そのため分散している地域組織の統合等による小さな拠点づくりの推進、及び地域資源を生かした地域外との交流人口の拡大に取り組む必要がある。

◇地域のシンボルである「雄清水」を有効活用するため、H24年に小水力発電事業を開始し、R1年からは、湧水を活用したレンコンやわさび等の地域特産物の生産にチャレンジ。

◇旧亀田街道清水まつりや椒沢番楽等の伝統文化は、後継者不足や小道具等の消耗により、衰退しつつある。

【里づくり計画】計画策定・拠点整備・活動支援

＜計画策定＞
◇各地域組織間の協力や統合を進め、小さな拠点づくり推進するため、これらを統合した新団体を設立
◇地域資源を生かした交流人口の拡大に繋がる取組及び拠点整備施設等を計画・立案する。

＜拠点整備＞
◇雄清水を活用した小水力発電の整備・補修
◇清水周辺公園整備、ライトアップ
◇農泊等の受入拠点整備（農家民宿、体験農園等）
◇亀田街道遊歩道の整備、小道具等の更新
◇杉山田公園及び周辺整備

＜活動支援＞
◇国際教養大学等、学生や子ども達の農業体験の受入
◇伝統文化継承のための番楽体験の受入及び研修会の開催
◇公園を利用した地域と地域外との交流会
◇地域散策マップの作成、地域PR動画の作成 など

魅力ある里づくりの構想（目標）

◇地域団体の統合組織
「大沢郷三地区結々会」の新設

◇地域外交流人口の拡大
・雄清水の利用者
36,000人（H30） → 50,000人（R4）
・農泊等、農業体験の受入人数
30人（H30） → 100人（R4）
・椒沢番楽の新規参加者
0人（H30） → 3人（R4）
・亀田街道雄清水まつりの参加者
250人（H30） → 400人（R4）

◇農産物の販売額（直売所売上）
300,000円（H30） → 1,200,000円（R4）



小水力発電施設



交流拠点施設



雄清水の入り口



亀田街道まつり



椒沢番楽